

心温まる広告をさがそう・作ろう

～新聞広告を使って～

F-6
コロナ禍

【対象】小・中学校、高校、一般、他
発達段階に合わせて活動を選ぶ

【時間】90分
学校なら2・3時間扱い

【会場】
教室 会議室 など

【参加者の持ち物】新聞2・3部
PCで作る場合は端末持参
紙で作る場合は、のり、はさみ、カラーペンなど

【準備】キット 9-1 9-5 新聞のストックがあれば提供
紙で作る場合…作品制作用紙 感想交換用の付箋

【講師】不要
学級担任・教科担任など

【活動の流れ】

(1) コロナ禍の新聞広告を鑑賞 (9-1 9-5)

- ・心温まる広告を見て、感想を話し合う。
- ・この広告の背景を知るためにキット 9-1 の資料集で当時のコロナ関連の記事も見るとよいだろう。

〈A: 広告を作る活動〉

(2) 持参した新聞から広告を探し、①の広告と比較する。(コロナ禍に限らない)

- ・グループなどで感想を交換
- ・自分がどういう広告を作りたいか、イメージを持つ。

〈B: 広告をさがす活動〉

(2) 持参した新聞から広告を探し、①の広告と比較する。

- ・グループなどで感想を交換
- (3) 心温まる広告を探して発表
- ・コロナ禍に限らない

(3) 「学校の〇〇」を知らせる広告紙面を作る。

- ・学校の良いところ、目立たないけれどホッとするとところなど、何をテーマにするかを決める。
- ・キャッチコピー、説明の文、写真イラスト等を考える。(著作権注意)
- ・校内の写真を撮ってきて載せることもできる。
- ・状況に応じて、PCで作成または紙で作成、どちらでもよいだろう。
- ・個人で作ってもよいし、グループで得意分野を分担してもよいだろう。

(4) 発表

- ・端末内で発表、感想交換
- ・紙で作成した場合は、壁に貼り付箋紙で感想交換

【その他】テーマは学校の場合を想定して「学校の〇〇」としたが、参加者の状況に応じていろいろ変えるとよいだろう。

*新たに広告を作るのではなく、新聞から「心温まる広告をさがそう」としてもよいだろう。発達段階や状況に合わせて計画しよう。